

「乳腺・一般外科」から「乳腺科」へ

乳腺疾患以外の疾患の振り分け先について

1. 新規の胃瘻造設	食道・胃外科
2. 甲状腺	1) 耳鼻咽喉・頭頸科 2) 糖尿病・内分泌内科 3) 腎・高血圧内科
3. ヘルニア	大腸・肛門外科
4. 下肢静脈瘤	心臓血管外科
5. 門脈圧亢進症 等	肝・胆・膵外科
6. 消化器系内科疾患	消化器内科

- ① 初診患者さまについては、上記診療科に受診願います。
- ② 乳腺・一般外科の再診患者さまについては、一度、乳腺センター（乳腺科）に受診後、上記診療科を紹介いたします。



順天堂大学医学部附属順天堂医院
〒113-8431 文京区本郷3-1-3
TEL: 03-3813-3111 (大代表)

ホームページ：
<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>
(平成17年12月作成)

順天堂医院 ニュース 2006 NO.16 新年号

ハートセンター 開設

平成18年2月1日予定! (裏面をご覧ください)



新年、あけまして
おめでとうございます



院長 宮野 武

人間にとって、健康ほど大切なものはありません。
順天堂医院は、我国でいち早く西洋医学を取り入れた
医学塾として168年前(天保9年)に開設以来、一貫して
患者さまに何よりもまず、やさしく、安全で高度の医療を
提供すべく努力してまいりました。
本年もさらにきめ細かく伝統を継承していく所存です。
「体調が変だな」と感じたらすぐ、「そうだ、順天堂へ行こ
う」と思っただけのよう努めたいと念願しております。
どうぞ、よろしく願いいたします。
年頭に当り、皆様にとって本年が健康で、幸せに満ちた
年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

ハートセンター開設・・・平成18年2月1日予定！

ハートセンター長のあいさつ

人口の高齢化と生活様式の欧米化によって高脂血症や糖尿病など動脈硬化の危険因子が増加し、わが国でも心筋梗塞や狭心症が次第に増えてきています。循環器疾患にはさらに、心不全、不整脈、弁膜症、心筋症、先天性心疾患や大動脈・末梢動脈疾患など、心臓から末梢血管まで様々な病態があり、それぞれの疾患に合った診断や治療を適切に行う必要があります。たとえば急性心筋梗塞では、救急室での初期治療から心臓カテーテル治療、集中治療室、一般病棟での治療、心臓リハビリテーション、そして外来診療までの連続した診療のプロセスを病状に合わせて進めていきます。このような循環器疾患の診療をより効率良く快適に提供するために、順天堂医院では心臓疾患、血管疾患を総合的に診療するハートセンターを設立します。順天堂ハートセンターでは、心臓と血管の病気に関わる最先端の診断、治療、予防を目的に、循環器内科や心臓血管外科、麻酔科及び小児科の医師だけでなく、看護師、薬剤師、臨床工学士、臨床検査技師、運動療法士、管理栄養士などのコメディカルスタッフがこれまで以上に綿密に連携して、患者さま一人ひとりに最適な医療を提供したいと考えています。



センター長
(循環器内科教授)
代田 浩之

副センター長のあいさつ

日頃我々が診療に当たっている循環器疾患は、先進国日本として変化を遂げた生活習慣の欧米化や高齢化社会の到来によってこの四半世紀で大きく変わりました。加齢とともに有病率が増加する一部の疾患を除けば他の循環器疾患は幅広い年齢層に見いだされ、患者背景や合併疾患の有無によって治療方針や日常生活の管理の仕方まできめ細かく対応する必要性が高まってきています。このような理由から我々は、患者さまは勿論のこと紹介して下さる先生方にも「順天堂医院であれば最良の医療を提供してくれるはずだ。」という期待に答えるべくハートセンターを設立することにしました。これまでも循環器内科と心臓血管外科が一致協力して診療に当たってまいりましたが、今回これをハートセンターとしてより強固な診療チームにして、患者さまごとに最良最善の医療を病状に即応して提供できるようにします。また疾病動向や治療体系の変化に対応して高度で安全な医療が提供できますように全体で協力して新しい治療法を含めた臨床研究・人材の育成などに取り組むことが可能になります。患者さま方には施設・利便性を含めましてご迷惑をおかけしないように最大限の努力をいたしますので、ご期待とともにご支援のほどよろしくお願いいたします。



副センター長
(心臓血管外科教授)
天野 篤